

決算審査特別委員会審査報告

9月定例会において設置された当特別委員会において、一般会計、特別会計及び病院、水道事業会計の全13会計の決算について審査を行い、12月定例会において審査結果を報告しました。指摘をした主な意見は次のとおりです。

一般会計

職員不祥事について

平成25年度から相次いで発覚している職員による不祥事は、平成28年度においても後を絶たず、職務外で起こったことであつたとしても行政の信頼を完全に失墜させたことは市民にとつて大変遺憾であつた。再発防止のために庁内では、職員の行動規律及び責務などに関するコンプライアンス研修を実施しているが、参加者は一部であつた。平成29年度においても行政への信頼を損なう事案が発生していることは誠に遺憾である。よつて、責任を持つて信頼回復に努めるため全職員を対象としたコンプライアンス研修の徹底を強く求める。

職員研修について

職員教育が強く求められているが、研修は限られた職員のみの

の機会となつている。地方自治の時代にふさわしい人材育成を全体に広げるよう、更なる職員研修の充実に努めるべきである。

個別外部監査について

市は、平成28年度に市長の要求に係る初の個別外部監査を行った。このことは、平成24年度離島流通効率化事業（水産加工施設整備事業）における株式会社ビッグフィッシャーによる補助金の不正受給事案の分析を踏まえ、本来あるべき補助金交付事務のあり方及びその汎用規準の方向性への提言を行うものであつた。なお、平成28年度に株式会社ビッグフィッシャーより損害賠償金として国と市への返還金計3千49万5千円が市に返還されたが、個別外部監査の提言を教訓とし、二度とこのような事件が発生しないよう不断の努力をすること。

借地の解消について

市の施策や事業として活用計画のない借地や、また貸し状態の借地が散見された。平成28年度の土地賃借料の総額は1億330万1千702円であり、これらを削減するためにも、更地のまま放置されている借地など優先順位をつけ、借地解消に向けて全庁的な取組をすること。

人口減少対策について

将来の人口減少が危惧される中、「佐渡市まち・ひと・しごと創生総合戦略」において人口減少対策の目標と施策を掲げ、様々な事業の展開を図っているが、目標に対する取組への緊張感が欠けていると史料する。各課でこの戦略の目的を再確認し、危機感を持つて重点的に取り組むこと。

財政運営について

財政力指数、経常収支比率及び実質公債費比率が対前年比では悪化している。今後、地方交付税の一本算定や合併特例債の発行期限切れにより更に厳しい

財政状況になることは明白である。事業を総点検し、財源確保と財政支出の不断の見直しをかけるよう強く求める。

財政援助団体について

市が旧市町村から引き継いで出資している法人の中には、その目的を終了しているものや、株式会社両津TMOのように本来の目的から外れた建物を建設し、手に余らせている事例もある。各課で厳しく見直しをかけ、目的を終了しているものは直ちに解散などの整理をすべきである。

防災管財課

◆災害に強い島づくり事業について
地域防災リーダースキルアップ事業は、地域防災リーダー研修の受講者数が少ないうえ、研修の成果を活かす仕組みが見られない。地域の防災力向上につながるよう更に努力すること。

企画課

◆財産の廃止及び譲渡について
平成28年度に廃止を予定したワイドブルーあいかわについて

は、用途が二転三転し混迷を極めた。よつて、今後は財産の廃止又は譲渡計画があるときは、担当課と手順の確認を着実にを行い、市民に迷惑をかけることのないよう進めること。

社会福祉課

◆障害福祉施設等整備事業について
精神障害者のためのグループホームが初めて整備されたが、市内全体としてはまだ不十分のため、地域に偏りのないよう更なる整備を求める。

子ども若者課

◆子育て支援対策事業について
ファミリーサポートセンター運営委託事業は、周知不足に加え地区別会員数にばらつきが見られるため、地区によっては利用しにくい状況が続いている。また、有償ボランティアではあるが、年間利用を考えると子育て世代には多大な負担であるため、早急に会員数の充実と料金設定の見直しを検討すること。

◆公立保育所運営事業について

平成28年度に金井保育園に市内初の病後児保育が設置されたが、見込みより利用者が少ない。制度の周知を徹底し、今後は市内に拠点を増やし利便性を図るよう取り組むこと。

農林水産課

◆離島漁業再生支援事業について

平成28年度の新規漁業就業者は、わずか1名であった。目標を明確に定め担い手の育成に努力すること。

農業政策課

◆メイド・イン・サドブランド創出事業について

サドメシランの取組により島内飲食店等での佐渡産食材の提供を推進しているが、島内の大型ホテルでの地産地消状況を把握していないことは大きな課題である。ホテル・旅館等における佐渡産品の使用率向上を図り、更にサドメシランの知名度を内外に広げるよう努力すること。

観光振興課

◆周遊滞在型観光推進事業について

相川観光循環バス運行支援事業は、2年目の取組であったにもかかわらず、観光客等の二

ズに合わず利用者が極めて少なかった。併せて同地区で同時に実施した生活交通確保対策事業の循環バスも同様に利用者が極めて少なかったことは、内外への誘客努力に大きな問題があったと指摘する。今後は、費用対効果をよく検証したうえで緊張感を持って取り組むことを強く求める。

◆佐渡インフォメーションセンター運営事業について

佐渡インフォメーションセンターは、完成時から地域振興課が所管し施設の利用促進を図ってきたが、大きな赤字収支を改善できなかった。これは、施設と担当課の性質が相いれないまま所管替えを行わなかったことが原因の一つであり、今後は観光振興の拠点としてインフォメーションセンター本来の機能を充実させ、施設の活性化に取り組むこと。

建設課

◆公園維持管理事業、港湾施設管理事業及びポケットパーク管理事業について

緑地等の維持管理、清掃業務委託事業は、対象事業が120件あるが、委託料の基準を定めておらず、契約先の見積りで単価が決まり、公平性において極めて不適切である。よって、早

急に単価の検討をすべきである。

◆市営住宅の使用料について

滞納件数が全く改善されていない。連帯保証人がその責務を理解し、督促に応じるよう更なる工夫を講じること。

農業委員会

視察研修について過去の決算審査特別委員会でも指摘をしてきたが、委員全員が同じ事業を視察するのではなく、市の厳しい現状を解決するために先進地に分散して研修を行い、報告会での共有を検討すること。

学校教育課

不登校児童生徒数は、前年比で特に中学校で大幅に増加している。これらの原因が多様化している現状において、専門性を持った相談員の配置や、原因が家庭環境にあるケースについては関係課と連携し、児童生徒の実情に合った体制作りに努めること。

◆継続費 相川小学校屋外環境整備事業について

相川小学校屋外環境整備事業は、計画どおりに工事が進まず大幅な工期延長があった。実施計画の段階で関係課との協議、確認を十分に行い、今後このよ

うなことが起こらないよう厳重に注意すべきである。

社会教育課

◆図書館施設管理事業について

図書館主催の一般市民向けの企画が実施されていない。予算を計上しての企画、運営を実施するためには現体制では無理があり、職員体制を抜本的に見直し図書館の市民サービスを充実すべきである。

◆博物館・資料館管理運営事業について

平成28年度は、文化芸術振興費補助金による地域の核となる歴史博物館支援事業の2年目が実施され、その成果として島内児童が博物館を利用した学習などに発展している。今後、市内博物館、資料館の目的に合った管理運営計画を早急に立案し実行すること。

下水道特別会計

市は汚水処理計画により公共下水道の延伸工事を進めているが、下水道への接続率は過去3年でわずか1.3%の微増にとどまっている。将来に大きな負担を残すことが危惧されることから、計画中止を直ちに検討すべきである。

財産区特別会計

五十里財産区特別会計

二宮財産区特別会計

新畑野財産区特別会計

真野財産区特別会計

各財産区を早期に廃止すること。

病院事業会計

両津病院、相川病院ともに慢性的な医師、看護師、薬剤師等医療従事者不足の問題がある。その中、両津病院ではワーク・ライフ・バランスの取組が内外から評価されており、中堅の看護師確保に一定の効果があつた。よって、これらの取組を充実させ、引き続き医療従事者等の確保に努めること。

水道事業会計

平成28年度は、水道事業に簡易水道事業を統合し新水道ビジョンが策定された。料金の見直しも含め市民の負担が少なくなるよう健全な水道事業に取り組むこと。

議案等（審議結果）一覧

【第8回臨時会】

◎は全会一致で可決、○は賛成多数で可決、×は否決、△は継続審査

議案の番号	件名	審議結果
議案第142号	専決処分の承認を求めることについて（平成29年度佐渡市一般会計補正予算（第6号）について）	◎
議案第143号	平成29年度佐渡市一般会計補正予算（第7号）について	○

◇賛否等の内訳 上表の賛否の分かれた議案(網掛け)について、議員別に賛否等を公表します。

○は賛成、●は反対、欠は欠席。なお、議長は採決に加わらない。

議案等の番号	議決結果	賛否の別		新生クラブ					政風会			政委会	日本共産党市議団		市政会		地域政策研究会		公明党	民進党	無党派			議長 岩崎 隆寿	
		賛成	反対	広瀬 大海	上杉 育子	駒形 信雄	金田 淳一	佐藤 孝	北 啓	室岡 啓史	中川 隆一		坂下 善英	中川 直美	中村 良夫	猪股 文彦	竹内 道廣	渡辺 慎一			祝 優雄	山田 伸之	近藤 和義		宇治沙耶花
143	可決	15	4	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	●	○	○	○	●	○	○	○	欠	

【第9回（12月）定例会】

◎は全会一致で可決、○は賛成多数で可決、×は否決、△は継続審査

議案の番号	件名	審議結果
議案第144号	佐渡市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	◎
議案第145号	佐渡市立幼稚園条例の一部を改正する条例の制定について	◎
議案第146号	佐渡市母子健康センター条例の一部を改正する条例の制定について	◎
議案第147号	佐渡市トキ交流会館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○
議案第148号	佐渡市社会体育施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	×
議案第149号	佐渡市南佐渡離島開発総合センター条例を廃止する条例の制定について	×
議案第150号	佐渡市公民館条例の一部を改正する条例の制定について	×
議案第151号	佐渡市立図書館条例の一部を改正する条例の制定について	×
議案第152号	佐渡市平スキー場の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	◎
議案第153号	佐渡市佐渡太鼓体験交流館の設置及び管理に関する条例を廃止する条例の制定について	○
議案第154号	財産の無償譲渡について（佐渡太鼓体験交流館）	○
議案第155号	公の施設に係る指定管理者の指定について（真野第2保育園、西三川デイサービスセンター）	◎
議案第156号	平成29年度佐渡市一般会計補正予算（第8号）について	×
議案第157号	平成29年度佐渡市介護保険特別会計補正予算（第2号）について	○
議案第158号	平成29年度佐渡市下水道特別会計補正予算（第2号）について	◎
議案第159号	平成29年度佐渡市歌代の里特別会計補正予算（第2号）について	◎
議案第160号	平成29年度佐渡市水道事業会計補正予算（第2号）について	◎
議案第161号	佐渡市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	◎
議案第162号	佐渡金銀山ガイダンス施設（仮称）建設（建築）工事請負契約の締結について	◎
議案第163号	平成29年度佐渡市一般会計補正予算（第9号）について	◎
議案第164号	平成29年度佐渡市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）について	◎
議案第165号	平成29年度佐渡市後期高齢者医療特別会計補正予算（第3号）について	◎
議案第166号	平成29年度佐渡市介護保険特別会計補正予算（第3号）について	◎
議案第167号	平成29年度佐渡市下水道特別会計補正予算（第3号）について	◎
議案第168号	平成29年度佐渡市歌代の里特別会計補正予算（第3号）について	◎
議案第169号	平成29年度佐渡市すこやか両津特別会計補正予算（第2号）について	◎
議案第170号	平成29年度佐渡市病院事業会計補正予算（第2号）について	◎
議案第171号	平成29年度佐渡市水道事業会計補正予算（第3号）について	◎

議案の番号	件名	審議結果
議案第172号	人権擁護委員候補者の推薦について	◎
議案第173号	佐渡市真野財産区管理委員の選任について	◎
議案第127号	平成28年度佐渡市一般会計歳入歳出決算の認定について	○
議案第128号	平成28年度佐渡市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	○
議案第129号	平成28年度佐渡市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	◎
議案第130号	平成28年度佐渡市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	◎
議案第131号	平成28年度佐渡市下水道特別会計歳入歳出決算の認定について	◎
議案第132号	平成28年度佐渡市歌代の里特別会計歳入歳出決算の認定について	◎
議案第133号	平成28年度佐渡市すこやか両津特別会計歳入歳出決算の認定について	◎
議案第134号	平成28年度佐渡市五十里財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	◎
議案第135号	平成28年度佐渡市二宮財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	◎
議案第136号	平成28年度佐渡市新畑野財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	◎
議案第137号	平成28年度佐渡市真野財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	◎
議案第138号	平成28年度佐渡市病院事業会計決算の認定について	◎
議案第139号	平成28年度佐渡市水道事業会計決算の認定について	◎
請願第11号	真野地区公民館についての請願	○
請願第12号	新穂地区体育館の存続についての請願	○
陳情第6号	両津文化会館の改修による存続についての陳情	△
発議案第9号	佐渡市議会委員会条例の一部を改正する条例の制定について	◎

◇賛否等の内訳 上表の賛否の分かれた議案(網掛け)について、議員別に賛否等を公表します。

○は賛成、●は反対、欠は欠席。なお、議長は採決に加わらない。

議案等の番号	議決結果	賛否の別		新生クラブ					政風会			政友会	日本共産党市議団		市政会		地域政策研究会		公明党	民進党	無党派			議長 岩崎 隆寿
		賛成	反対	広瀬 大海	上杉 育子	胸形 信雄	金田 淳一	佐藤 孝	北 啓	室岡 啓史	中川 隆一		坂下 善英	中川 直美	中村 良夫	猪股 文彦	竹内 道廣	渡辺 慎一			祝 優雄	山田 伸之	近藤 和義	
147	可決	14	5	○	退	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	●	●	○	●	○	○	○	○	○
148	否決	8	12	●	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
149	否決	9	11	●	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
150	否決	8	12	●	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
151	否決	7	13	●	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
153	可決	14	5	○	退	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
154	可決	13	6	○	退	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
156	否決	9	11	●	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
157	可決	19	1	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
127	可決	14	5	○	退	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
128	可決	16	3	○	退	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請11	可決	18	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請12	可決	13	7	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

【第10回臨時会】

◎は全会一致で可決、○は賛成多数で可決、×は否決、△は継続審査

議案の番号	件名	審議結果
議案第174号	平成29年度佐渡市一般会計補正予算(第10号)について	◎

◆行政視察の受入状況

年	月	日	内 容
平成 29 年	9月	7日	高知県（地域医療ネットワーク「ひまわりネット」・佐渡国際トライアスロン大会）
		8日	和歌山県（トキの森公園の取組み）
		26日	熊本県天草市（観光振興）
	10月	4日	千葉県千葉市（世界遺産登録・佐渡版DMOを中心とした交流型観光振興）
		6日	長崎県松浦市（地域資源を活かした観光振興）
		17日	山口県周南市（元気で魅力的な地域づくり・島びと元気応援団）
		17日	岐阜県岐阜市（地域おこし協力隊）
		19日	熊本県菊池市（市独自の子育て支援策）
		25日	愛知県清須市（地産地消推進事業・島の魅力発信とおもてなしの推進事業）
		25日	東京都瑞穂町（認知症予防事業・エクサドン事業）
	11月	1日	愛知県新居浜市（第2次環境基本計画）
		9日	長崎県佐世保市（移住定住の取組み・佐渡金銀山の世界遺産登録）
		15日	神奈川県（災害の取組み）
		29日	沖縄県嘉手納市（移住定住の取組み・プレミアム商品券・観光振興）

◆議会の動き

年	月	日	内 容
平成 29 年	9月	6日	議会報編集特別委員会
		11日	総務常任委員会 社会文教常任委員会
		12日	総務常任委員会
	10月	17日	議会報編集特別委員会 産業建設常任委員会
		23日	決算審査特別委員会 (24日、25日、27日、30日、31日)
		26日	議員全員協議会 総務常任委員会 議会運営委員会
		28日	入間万燈まつり (～29日 埼玉県入間市)
		1日	第8回（11月）臨時会
	11月	2日	決算審査特別委員会 (7日、8日、10日、20日)
		4日	国分寺まつり (～5日 東京都国分寺市)
		5日	国分寺市議会姉妹都市交流会 (～6日 東京都国分寺市)
		22日	議員全員協議会
		28日	議会運営委員会
		12月	1日



畑野小学校の6年生30人が 社会科の授業の一環として 12月7日の議会傍聴に 訪れました。

市政と市議会の仕組み、政治への関心や次世代を担う佐渡市民としての自覚を深めることができた感想をいただきました。

編集後記

旧年中は、市議会だよりをご愛読戴き篤く御礼申し上げますと共に、本年も「層のご支援ご協力をお願い申し上げます。

さて、現在日本の大問題は「少子高齢化」とそれに伴う「人口減少」であり、世界でも稀に見る「老人国家」が目前に迫っています。離島佐渡市に於いては、その傾向が極めて顕著で、平成16年の佐渡市合併時には7万人を越えていた人口が現在約5万6千人となり、高齢化率は国の27.5%に対し佐渡市は40.5%、高齢者に占める後期高齢化率は約60%に達しており、既に本市は超高齢化・人口激減社会に突入しています。

昨年の一般質問では、毎回の様に各議員がこの課題を取り上げてきましたが、今日の佐渡市は自治体存亡の危機に瀕していると言っても過言ではありません。具体的には、医療関係者不足による入院病床数の削減（両津病院では99床を60床に縮小）、特別養護老人ホーム待機者の増加（400人以上）や介護離職者の増加など大きな社会問題となっています。近い将来、佐渡で子供が産めなくなるのではないかと危惧する声も少なくありません。

この「有事」に立ち向かうための解決策は、国や政府にのみ頼るのでなく、市民が自ら知恵を絞り「佐渡創生」を着実に進めることが肝要と考えられています。今後共、皆様に御指導を賜りますようお願い申し上げます。

（近藤和義記）